

(別添)

東京慈恵会医科大学附属病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年10月 策定

【東京慈恵会医科大学附属病院の基本情報】

医療機関名：東京慈恵会医科大学附属病院

開設主体：学校法人慈恵大学

所在地：東京都港区西新橋3-19-18

許可病床数：1075床

（病床の種別）

一般病床：1026床 精神病床：49床

（病床機能別）

稼働病床数：1073床

（病床の種別）

一般病床：1024床 精神病床：49床

（病床機能別）

診療科目：

内科、消化器内科、神経内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、血液内科、循環器内科、
呼吸器内科、精神科、小児科、皮膚科、外科、消化器外科、肝臓外科、乳腺外科、
呼吸器外科、血管外科、産科、婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、
リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、放射線科、救急科、病理診断科

職員数：(人)

医師	695	理学療法士	19
薬剤師	66	作業療法士	7
看護師	1048	言語聴覚士	3
助産師	35	看護補助員	57
診療放射線技師	71	歯科医師	7
栄養士	42	歯科衛生士	4
臨床検査技師	106	事務員	171

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

高度急性期～回復期は、特定機能病院、大学病院、救命救急センター、がん診療連携拠点病院、周産期母子医療センターが集積し、様々な区域から高度急性期及び急性期の患者が流入する一方で、慢性期は受け入れ施設も少なく流出超過である。自区域完結率は、高度急性期、急性期が58%前後であるのに対し、回復期42%、慢性期21%と相対的に低い。

区域の人口動態は、2025年（平成37年）まで増加した後、緩やかに減少する。高齢化率は、2025年22.0%であるが、2040年には32.8%と急伸する。したがって、疾病構成の変化とともに将来推計患者数及び病床数の必要量も増加することが想定される。

② 構想区域の課題

区域における高度急性期から慢性期に至る地域完結型の医療提供体制は、昼夜間人口比や地政学的な特殊要因から、すべてのカテゴリーを整備することは困難な状況。区域内での回復期や慢性期病床の運営は多額の投資が必要であり経営リスクが高い。

区域における既存病床数は基準病床数を8142床（平成29年4月1日現在）上回る病床過剰区域である。将来推計患者数の増加にともない病床数の必要量も増加することが想定されることから、基準病床数の見直しも含め地域医療構想に反映させることが望まれる。

区域では、特定機能病院や大学病院、がん診療連携拠点病院が集積しているため、高度で専門性の高い医療を受けるために区域外の広いエリアから多くの患者が流入していること。行政やビジネス、商業の中心地であり、区域外の住所地の会社員等を集患する極めて特殊な区域であり、地域医療構想とは別な視点が必要。

③ 自施設の現状

・ 自院の理念、基本方針

病院の理念

「病気を診ずして病人を診よ」の教えに基づき、質の高い医療を実践し、医療人を育成することにより、社会に貢献し、患者さんや家族から信頼される病院を目指す。

病院の基本方針

1. 患者さんや家族が満足する良質な医療を実践する。
2. 先進医療の開発・導入など、日々医療水準の向上に努める。
3. 優れた技術を身につけ、豊かな人間性と倫理観を兼ね備えた医療人を育成する。
4. 地域社会と連携し、きめ細やかな医療サービスを提供する。
5. 全職員が誇りを持って働ける職場づくりを実践する。

・ 自院の診療実績

入院基本料：7対1特定機能病院入院基本料

平均在院日数：12.4日、新入院数：25,474人、病床稼働率：80.5%

手術件数：14,043件、紹介率：71.9%、逆紹介率：52.2%

・ 自院の職員数（2頁、東京慈恵会大学附属病院の基本情報参照）

・ 自院の特徴：4機能のうち高度急性期及び急性期が中心

・ 自院の担うべき政策医療（5疾患：がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、精神、4事業：救急医療、災害医療、周産期医療、小児医療）

・ 他機関との連携

附属病院、第三病院（狛江市）、葛飾医療センター（葛飾区）、柏病院（柏市）、晴海トリトンクリニック（中央区）の学内連携

国立がん研究センター中央病院との包括協定締結

働く人の健康支援研究会を通しての産業医との連携

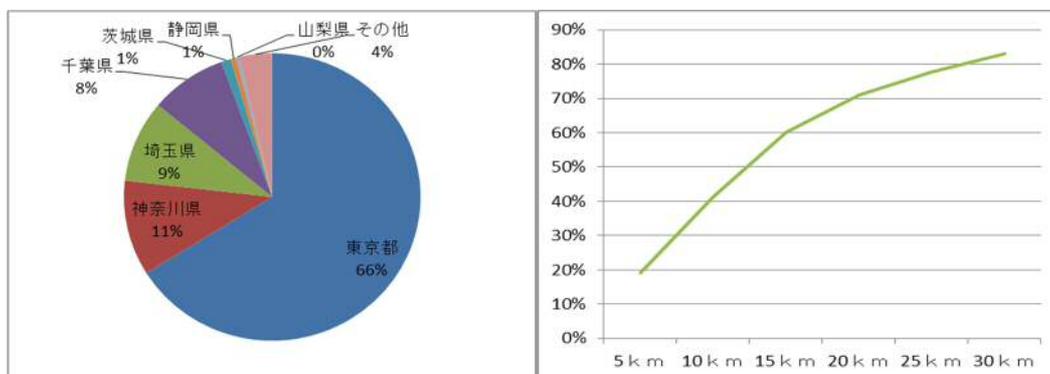
登録医、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーションとの連携

本学同窓との連携

港区、港区保健所、港区医師会、港区歯科医師会、港区薬剤師会との連携

④ 自施設の課題

自院入院患者の都道府県別集患状況は、東京都66.1%、神奈川県10.7%、埼玉県9.2%、千葉県8.4%である。なお、構想区域である区中央部からは17.8%でしかない。また、自院から半径5kmエリアは19.2%、10kmエリアで41.3%、30kmエリアで80%超と診療圏が極めて広範囲であることが特徴である。したがって、地域医療連携や地域完結型の医療の提供だけでは自院のポテンシャルを十分に発揮できない。



【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・ 特定機能病院として、5疾患4事業（僻地を除く）を推進する。
- ・ 入院患者の3割が「がん」診療であり、がん診療連携拠点病院として、国立がん研究センターとの連携を密に進めていく。また、がんゲノム治療について、（仮称）遺伝診療部を立ち上げ実用化していく。
- ・ 小児周産期医療に関しては、2020年を目途に「総合周産期母子医療センター」の指定を目指し新棟の建築が進んでいる。
- ・ 救急医療は地域の2次救急を担当し初療を含め対応している。救急搬送数は年間7000件超、応需率90%超である。救急部では2020年以降に救命救急センターの指定を目標に体制整備を計画している。
- ・ 大学病院本院として、教育・研究の推進、高度医療の開発、専門性の高い医療提供を継続的に実施するほか、自院のリソースを活かし地域のアウトリーチ活動を通して人材育成と地域医療に貢献する。
- ・ 自院区域以外への医師派遣を通して、他の区域における地域医療に貢献する。

② 今後持つべき病床機能

- ・ 高度急性期、急性期病床機能を維持する。ただし、区域において、急性期以降の受け皿として回復期及び慢性期病床機能が不足し退院調整が機能しない場合は、非急性期病床を設置することも検討する。
- ・ 医育機関、臨床研修病院として、専門性の高い急性期医療だけでなくプライマリーケアやコモディティーズなど多様な症例を取り扱う必要があるため相応の病床機能を検討する必要がある。

③ その他見直すべき点

区域内の将来推計患者数は増加傾向にあるため、地域医療の観点から病床数の最適化を図る。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	1024	→	619
急性期	0		407
回復期	0		50
慢性期	0		0
(合計)	1024		1076

<具体的な方針及び整備計画>

- ・2020年新棟開設時にMFICUの新設、NICU、GCU、PICU増床を行い総合周産期母子医療センターの指定を計画している。(高度急性期+19床)
- ・救命救急センター開設に向けた検討を行う。(高度急性期+6床)
- ・非急性期機能の新設を検討する。(回復期+50床程度)

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	○合意形成に向けた協議	○自院の今後の病床のあり方を決定(本プラン)	
2018年度	○地域医療構想調整会議における検討参画	○地域医療構想調整会議において自院の病床のあり方に関する合意を得る	
2019～2020年度	○新病院棟開設(周産期母子医療センター移転) ○新外来棟開設	○地域周産期母子医療センター→総合周産期母子医療センター指定申請	
2021～2023年度	○救命救急センターの開設、回復期病床増床等の病床整備計画基本構想・基本計画を検討	○2023年度までに病床整備計画基本構想・基本方針を策定 ○基本設計着手	

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

<p><u>医療提供に関する項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病床稼働率：90% ・ 手術室稼働率：70% ・ 紹介率：80% ・ 逆紹介率60% <p><u>経営に関する項目*</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費率： ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合： <p>その他：</p>
--

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)

<p>大学病院本院、特定機能病院の役割である、医育機関としての教育・研究機能、高度医療の開発と提供機能、地域への医師派遣供給機能が十分に担保され、持続可能な大学・病院運営が実現できる地域医療構想であることが肝要であり、取りも直さず我が国の医療技術の高度化、地域医療の発展に寄与するものと考えます。</p>
--